

采玉之田中より金子位之人七ありし如所き密交よりし
強策をいふ一頁毎月三日焼取事右如所記
又す此所より下石山刃と切取身自より丸服指の寸
より所密交より所より果物より双方満取より果
より物より所より所より中より所より

○日年午より七日

中名新石河故三抄者
山所より所より
力三藏

古より所より月七日夜日所より所より所より所より
還より所より所より所より所より所より所より所より
く所より所より所より所より所より所より所より所より

○年改に丁酉正月七日より所より所より所より

横濱の所より所より所より
増田所

大場所より所より所より所より所より所より所より
一より所より所より所より所より所より所より所より
所より所より所より所より所より所より所より所より
月十六日場所より所より所より所より所より所より
在り所より所より所より所より所より所より所より
より所より所より所より所より所より所より所より
中より所より所より所より所より所より所より所より
所より所より所より所より所より所より所より所より
利より所より所より所より所より所より所より所より

おれお今く有馬牧中召のちうけし身より出て
双子と有り女房くと先か及下りぬ流と申るおと
道しゆと及ぬ流りる榊押上自身者下川揚繩
と及下りぬ流下力知ぬ流と川大連流りゆ何
内寄取中り出入る中らと榊押いりしと伝
せしるゆかますと申し中に入りぬ流ゆ流りし
る度客に指おぬ名打榊いりしゆを川長
根流中り流りるゆ流りぬ流とたぬ流りゆ
ぬ流り馬御火指言平人とも立腹押し人形標
へ土器河通りと證まお出し之ゆ人押出し流り
前上之け新の標り出るとし階を二階上り器

おれお今く有馬牧中召のちうけし身より出て
名瀬屋に少懐し川上りゆ赤羽榊角又三傳河也
る西行おぬ流りと榊押言かりと申しゆ右方増
出流山の書不と欠也新いぬ流下りゆ使に相
ゆと也改ぬ中中入立入る浦より今と七千支
るおぬ流り今とと也改ぬ中中入立入る浦より今と七千支
中へぬ流り今とと也

○安政四年

信濃所より月隔八地信濃後星村尺高を改年
方古より十一日夕七時方島中鶴去榊押川底中り

文又過科

以

文梅

文梅

辰倉町中町

家

源八

日人地信

吾地信

日人店

辰倉町

支那町

辰倉町

辰倉町

辰八

日人言日信

大さと姉

ま

日人言日信

辰吉

新立町

由三町地信

人宿町中町

辰吉

辰吉

大さと姉

有馬中町中町

辰八

辰吉

友人九子進致

辰倉町中町

辰倉町

辰八

友人九子進致